

## 光ファイバ整備に関するQ&A

No.	項目	Q	A
1	スケジュール	光回線はいつ使えるようになるのか	<p>来年度（令和4年3月）までに整備を完了します。整備完了後に各ご家庭で事業者と光回線の契約・工事といった流れとなります。ただし、全国全道で一斉に整備を開始するため、詳細な時期は未定です。</p>
2	仮加入申込	仮加入申し込みをしたら、必ず光回線の契約をしなければならないのか	<p>必ずしも契約の必要はありません。</p> <p>ただし、仮加入申し込みをいただいた建物において光回線が利用できるための整備を行います。仮加入申し込みがないと整備ができない可能性がありますので、将来（例えばお子様、お孫様などが）使う可能性がないかをご検討ください。</p> <p>仮加入申し込みで料金が発生することはありません。</p>
3	仮加入申込	整備とは何をするのか	<p>光回線をいつでも使えるようにするために、建物付近まで光ファイバを通します。整備後、光回線を使用するかは各ご家庭などの判断になりますが、整備を行うことで、NTT東日本等の事業者と光回線の契約をすると、すぐに使うことができるようになります。もし、仮加入申し込みをされないと、すぐに使用できなかったり、通常より高額な負担になるかもしれません。</p>
4	仮加入申込	NTT東日本以外と契約は可能か	<p>光回線の整備が終わった後の本申し込みの段階で、どの事業者と契約するかはご本人がご選びいただけます。</p>
5	仮加入申込	Wi-Fiの申し込みはしなければならないのか	<p>必ずしも必要はありません。しかし、今回は国からの補助を活用して実施します。その要件がご家庭などでのWi-Fiの設置となっているため、ご協力をお願いします。</p>
6	仮加入申込	Wi-Fi機器を設置しなければならないのか	<p>申込時に申請すれば、機器はNTT東日本で用意します。（料金等はNTT東日本などにご確認をお願いします）ご自分で購入して設置することも可能です。</p>
7	仮加入申込	固定電話がないがどうしたらよいか	<p>固定電話がないと光回線の整備ができない可能性があります。そのため、仮加入申込書により整備が必要な個所を把握しますので、提出をお願いします。</p> <p>※仮加入申し込みのあった建物には、光回線を整備します。</p>
8	仮加入申込	インターネットを使う予定がないので申込しなくてもよいか	<p>光回線の契約は必ずしも必要はありませんが、今は使わなくても将来使う可能性がある（例えばお子様、お孫さんがいるなど）ような場合は、仮加入申込書を提出してください。</p>
9	仮加入申込	自宅と店舗等複数の建物で光回線を使いたい場合どうしたらよいか	<p>仮加入申込書の契約予定先及び契約予定回線数の欄にそれぞれの場所の希望回線数と住所を記入してください。自宅と店舗等が離れている場合、引込工事の調整等が必要となるので、仮加入申込書に店舗等へ引き込みたい、また、自宅等から離れていることが分かるように記載ください。</p>

10	工事・利用にかかる費用	電柱から家庭等への引き込み距離に応じて引き込みにかかる料金に変動はあるか	距離に応じて変動することはありません。ただし、仮加入申し込みをされていない建物の場合は、別に料金が発生する可能性があります。
11	工事・利用にかかる費用	整備事業が終わった後に仮加入申し込みをしていない建物に設置したい場合、整備費用は自己負担になるのか	その場合、自己負担となる可能性があります。光回線を使用するかどうか迷っている方は、仮加入申込書を提出してください。
12	工事・利用にかかる費用	Wi-Fiを設置すると、料金はプラスされるのか	Wi-Fi内蔵のルーターと非内蔵のルーターがあり、Wi-Fi内蔵のルーターをNTT東日本からレンタルする場合、基本料金が300円程度プラスされます。Wi-Fiの機器をご自身で購入して設置することも可能です。 ※詳しい料金はNTT東日本など事業者にお問い合わせください。
13	工事・利用にかかる費用	料金プランはどうなるのか。	ギガスマート（Wi-Fi内蔵）のプラン（5,700円）より300円安くなります。ただ最初の30か月は割引があるので同じ値段です。 ※詳しい料金や割引などは、NTT東日本など事業者にお問い合わせください。
14	本契約	NTT東日本とプロバイダそれぞれと契約が必要か	それぞれと契約が必要となります。なお、フレッツ光（NTT東日本提供）に加入される場合、NTT東日本と提携しているプロバイダの場合は契約手続きをNTT東日本が同時に行ないます。NTT東日本とプロバイダ料金の支払いもNTT東日本が合算して利用者に請求します（それぞれに支払う必要がなくなります）。ただしNTT東日本以外と契約をされた場合は、各事業者により取り扱いが異なります。
15	本契約	NTT東日本ではなく、他社のプランなどで最初から申し込むことはできないのか	光回線の整備が終わった後の本申し込みの段階で、どの事業者と契約するかはご本人がお選びいただけます。
16	オーレンス	オーレンスと契約しているがどうしたらよいか	オーレンスによるサービスは令和5年3月に終了予定です。ご自宅でインターネットを継続して利用するためには、光回線を契約するか、ポケットWi-Fiの設置などが必要となる可能性があります。（スマホやタブレット等の携帯電話回線を利用できる端末の場合は、必ずしも光回線やポケットWi-Fiは必要はありません。）
17	オーレンス	オーレンスに加入している場合、アンテナ等はどうしたらよいか	貸借の場合→撤去 購入の場合→そのままにするか、撤去するかをお選びください。 ※ただし、いずれの場合も撤去費用が2万円程度かかります。
18	その他	ひかり電話とは	光回線を利用した電話サービスです。インターネットサービスを利用している方が加入できます。固定電話回線と比較して距離に関係なく一律の通話料であること、月額基本料金もひかり電話のほうが安くなります。

19	その他	光回線の交換器（市街地）から離れているほど、通信速度は落ちるのか	光回線はADSLとは違い、距離の影響を受けませんので、農村部でお使いの場合でも市街地と変わらない速度で使えます。
20	その他	光ケーブルを事故で切ってしまった場合、個人での賠償になるか。町からの補助はあるか	NTT東日本とお話し合いいただきますが、基本的には切ってしまった方が補償していただくことになります。加入されている保険によっては保障の対象になる場合もありますので、保険会社にご確認をお願いします。
21	その他	光ファイバー整備が終わった直後に5G（無線）が普及する可能性は	5Gは都市部で始まったばかりで、地方に整備されるのは、先だと考えられます。まずは光ファイバーの整備を進めていきます。
22	その他	同じ敷地内（同じ住所）に別々の家がある場合、どのように仮加入申込書に記入すればよいか。その場合、実際に契約するときは2回線契約することになるか	1回線の契約で複数の建物でも利用可能ですが、建物が離れているとWi-Fiが届かない可能性があります。その際は建物の戸数に応じて契約していただくことになりますので、仮加入申し込みの際は回線数を戸数と合わせて記入してください。 本申し込みされる際に、事業者と契約する回線数をご相談いただくこととなります。
23	その他	ADSL回線について	今回光回線を整備することで、土幌町全域が光エリアとなるため、ADSL回線は、2023年の1月31日でサービスの提供が終了します。
24	その他	現在何も無い場所に、将来家を建てたい場合は、どのように仮加入申込書を記入すればよいか	今後建てる予定の建物の住所や希望する回線数もご記入ください。
25	本申込	本申し込みはどのように行うのか	仮加入申込書の情報をもとに、申し込みされた方に対し、NTT東日本が直接ご連絡を差し上げます。 他社と契約を希望される場合は、NTT東日本からのご連絡を受けたときにその旨をお伝えいただくとともに、ご自分で事業者にご連絡いただきお申し込みください。